

科目名	情報通信工学実験基礎	英文表記	Fundamental Experiments of Information Communication Engineering	2012/3/5			
科目コード	1201	教員名: 兼城 千波、比嘉 勝也 技術職員名: 比嘉 修				作成	
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
情報通信システム工学科	1年	必	履修	2単位	実験	後期	
科目目標	①回路における基本事項の理解 ②実験レポートの書き方を身につける ③回路図を読み取り、回路を作製できるようにする。						
総合評価	小テスト・レポートで100%評価する。						
達成度目標と評価方法	科目達成度目標			達成度目標の評価方法			
	①	回路における基本事項の理解	⇒	正しく説明できるか講義での小テストで評価する。			
	②	実験レポートの書き方を身につける	⇒	課題レポートで評価する。			
	③	回路図を読み取り、回路を作製できるようにする。	⇒	各講義の実習でチェックする。			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	○	○	◎				
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 測定を行うための機器の使い方や安全面で注意することを学ぶ。 測定時の工夫するべき点やグループで協力して効率的に測定を行うための方法を指導する。 個人あるいはグループで回路製作などの実験を行い、実験終了後レポートを提出。 関数電卓、グラフ用紙、定規は毎回持参する。 						
教科書・教材	配布資料、PPT						
授 業 計 画							
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			自学自習 (予習・復習)内容	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
期末	期末試験						

16	ガイダンスおよび回路要素の	4	ガイダンス、SI単位系、回路記号の話	
17	テスターの製作(1)	4	素子のチェックシート、半田付け、回路製作	先週の講義内容・問題復習
18	テスターの製作(2)	4	半田付け、回路製作	先週の講義内容・問題復習
19	レポートの書き方	4	テスター製作と素子評価に関するレポート作成	先週の講義内容・問題復習
20	ブレッドボードによる回路の	4	ブレッドボードの使い方、LED点灯回路	先週の講義内容・問題復習
21	直流・交流回路	4	キルヒホッフの法則、直流・交流	先週の講義内容・問題復習
22	物体位置計測器を作る(1)	4	物体位置計測器の製作	先週の講義内容・問題復習
23	物体位置計測器を作る(2)	4	物体位置計測器の製作	先週の講義内容・問題復習
24	物体位置計測の特性評価	4	物体位置計測器の特性評価とレポート	先週の講義内容・問題復習
25	光感知音声再生回路を作る	4	光感知音声再生回路の製作	先週の講義内容・問題復習
26	光感知音声再生回路を作る	4	光感知音声再生回路の製作	先週の講義内容・問題復習
27	光感知音声再生回路の評価	4	光感知音声再生回路の特性評価とレポート	先週の講義内容・問題復習
28	創作回路(これまでの回路を	4	これまで学習した回路を組み合わせて、創作回路を作製しよう	先週の講義内容・問題復習
29	創作回路(これまでの回路を	4	これまで学習した回路を組み合わせて、創作回路を作製しよう	先週の講義内容・問題復習
30	創作回路の発表	4	これまで学習した回路を組み合わせて、創作回路を作製しよう	先週の講義内容・問題復習
期末	期末試験	0		
学習時間合計		60	実時間	50
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
①	課題演習(その週の講義内容に沿った内容についてレポートを課す。)			各2時間×10回
②				
③				
備考欄				
記入無し				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)

|

|

|